

党 要 望 に 対 す る 回 答 書

回答部局課名（市民生活部 協働推進課・市長室 政策審議室）

政 党 名	自民党川口市議会議員団
表 題	人権・コミュニティ対策
要 望 番 号	5. 多文化共生の推進・友好都市の締結
要 望 内 容	市内においては、多文化共生社会の実現に向けた政策を一層推進すること。また、国内外の都市間交流を深め、友好都市協定の締結等、幅広く視野を広げるとともに、さらなる特徴ある川口を目指すこと。
回 答	<p>本市では、年々増加を続ける外国人住民に対応するため、第2次川口市多文化共生指針を策定し、「日本人住民と外国人住民の多様性を活かした元気な川口のまちづくり」の基本理念の下、日本人・外国人住民がお互いに理解・尊重し合える多文化共生のまちづくりを進めるものとしております。</p> <p>また、日本人・外国人住民の共生社会実現のため、地域の町会・自治会からの要請に応じて、外国の文化や市の多文化共生について講義する国際理解講座の開催や、日本人・外国人住民相互の理解を深める地域の交流会や外国人住民にゴミ捨てるのルールやマナーについて啓発するオリエンテーション開催の支援、地域の外国人住民への周知・伝達を支援する通訳の派遣や文書の翻訳など、地域における多文化共生を推進して参ります。</p>

都市間交流事業のメリットは、住民の相互訪問などによる文化交流、地域振興や観光促進などの経済交流が挙げられます。また、海外都市との交流は、住民の国際交流の機会の提供に重要な役割を果たし、国際感覚豊かな都市風土を醸成する効果が期待されます。

本市では、平成30年8月にアメリカ合衆国オハイオ州フィンドレー市と教育分野に関する友好都市提携に関する協定及び教育交流プログラムの実施に関する協定を締結し、協定に基づき令和元年には川口市立高等学校の生徒が1期生としてフィンドレー高校へ約7カ月の長期留学を行ったところでございます。

今後、フィンドレー高校からの留学生を川口市立高等学校へ受け入れる事業についても予定しております。

引き続き、都市間交流や友好都市のあり方、課題等を整理しながら、さらなる推進に向けて取り組んで参りたいと存じます。